

令和2年度 こおり新時代幕開け予算

ここからは、総合計画の「第3編 重点プロジェクト」「第4編 施策分野別の基本計画」「第5編 計画推進に向けた取組み」ごとに、主な事業と予算を掲載します。

※新型コロナウイルスに関する社会情勢により、記載内容の一部に変更が生じる場合があります。

重点プロジェクト 1 『献上桃の郷』展開プロジェクト (町のイメージアップ)

「献上桃の郷」商標登録を契機として、本町産桃のブランド化等を推進し、町のイメージアップと交流人口の拡大に努めるとともに、農家はもとより、町民所得の向上を目指します。

① 質の高いモモ生産に向けた農家支援【6,872万円】



※うち国県等補助金(6,200万円) 担当:産業振興課

26年連続で献上桃指定を受けている桑折町の桃のさらなる品質向上を目指し、各種生産農家支援に取り組みます。

- ・果樹改植事業、モモせん孔細菌病防除対策事業等【6,320万円】
- ・農業次世代人材投資事業(経営開始型)など【552万円】

② 献上桃の郷こおりシティプロモーション事業【1,314万円】

※うち国県等補助金(1,166万円) 担当:総合政策課

町のイメージアップ、交流人口の拡大や関係人口の創出等を図るため、仙台圏域でのPR事業の強化、在京桑折会の開催、町PR映像の制作、桑折ファンクラブ等への情報発信事業など、広域的に町の魅力や知名度の浸透拡大を目指し、シティプロモーションの視点に立った各種取組みを展開します。



③ 観光誘客プロモーション事業【1,092万円】

※うち国県等補助金(309万円) 担当:商工観光推進室

首都圏・仙台圏等への観光及び特産品等のPRを展開するとともに、「レガールこおり」を拠点に、「献上桃の郷」の知名度向上とイメージアップ、ブランド力向上を図り、桑折町の農業及び地域活性化に繋がります。

重点プロジェクト 2 『21世紀の追分推進プロジェクト (効果的な土地利用)』

相馬福島道路を活かした効果的な土地利用を図り、移住・定住を視野に企業誘致と新たな雇用の創出に努め、さらに、広がりのある観光周遊ルートの形成による交流人口の拡大策を講じ、広域的な地域の拠点形成を目指します。

① (仮称) 国道4号IC周辺の土地利用検討と企業誘致【48万円】

担当:まちづくり推進課

相馬福島道路の本町区間開通が今夏に迫るなか、令和2年度内の全線区間開通により、地理的優位性などポテンシャルの高さがますます顕著となることから、昨年度の「基本構想(適地選定)策定業務」の成果を十分に活用しながら、土地利用の検討や企業誘致と新たな雇用創出への取り組みを強化します。



② 相馬福島道路整備関連事業【320万円】

担当:まちづくり推進課

待望の本町区間完成が、町民の皆さんの記憶に鮮明に残るものとなるよう、開通前にしか体験できない町民参加型のイベントを6月末に開催し、復興道路完成の喜びと感動を分かち合うとともに、間近に迫る開通をPRします。

重点プロジェクト 3 歴史まちづくり推進プロジェクト (歴史的風致維持向上計画の取組み)

先人から受け継いできた歴史的資源を次世代へ確実に継承していくため、本町の「良さ」「らしさ」を再認識し、歴史的建造物と人々の営みが一体となった良好な環境整備を進めるとともに、町のPRに努めながら“歴史探訪者”の増加を目指します。

① 史跡桑折西山城跡整備事業【5,492万円】

※うち国県等補助金(2,367万円) 担当:生涯学習課

史跡指定範囲内の史跡公園整備事業の最終年度となる今年度は、西館の枳形状虎口の階段及び平沢口への遊歩道整備とともに、大かや園にガイダンス施設を整備します。

また、史跡指定範囲外の事業に新たに取り組み、今年度は、大手門に至る町道から坂町に至る道を遊歩道として整備し、観音寺、大かや園からの案内サイン、城跡碑を設置します。



② 全国山城サミット桑折大会プレ大会事業【1,094万円】

※うち国県等補助金(785万円) 担当:生涯学習課

令和3年度に誘致を予定している「全国山城サミット桑折大会」に向け、本町の歴史的遺産と震災からの復興を全国的にPRすることにより交流・関係人口の拡大を図るとともに、史跡桑折西山城跡をはじめとする歴史的遺産を後世に引き継いでいく意識を醸成していくため、「プレ大会」を実施します。

③ 万正寺の大かや周辺整備事業【743万円】

※うち国県等補助金(297万円) 担当:生涯学習課

県の天然記念物に指定されている「万正寺の大かや」周辺に散策路や保護柵などを整備していきます。今年度は、既存建物の解体、保存整備のための実施設計を作成します。

重点プロジェクト 4 町民のための庁舎整備プロジェクト (役場新庁舎の建設)

災害対策や町民活動の拠点的機能を有し、利便性や快適性を考慮した庁舎づくりを進め、町民に寄り添い頼りにされる役場を目指します。

① 役場新庁舎建設事業【17億3,057万円】

※うち国県補助金等(4,375万円) 担当:新庁舎整備室他

令和2年10月末の完成及び令和3年1月の開庁に向け、本体建築工事に加え、外構工事、新庁舎太陽光パネル及び蓄電池設置工事のほか、什器整備や既存什器・各種システム移設及び書類運搬作業などを進めています。



② 役場新庁舎落成及び 町制65周年記念式典【223万円】

担当:新庁舎整備室他

新庁舎開庁に向け、11月には町民内覧会を実施します。令和3年1月には、合併65周年の節目でもあることから、開庁式及び落成・町制65周年記念式典を開催し、町民のみなさんと落成を祝います。

【今年度の予定】

新庁舎完成 ⇒ 町民内覧会 ⇒ 開庁式、落成式典